

DIAGNOSTIC TOOL

操作ガイド

HDM-10000

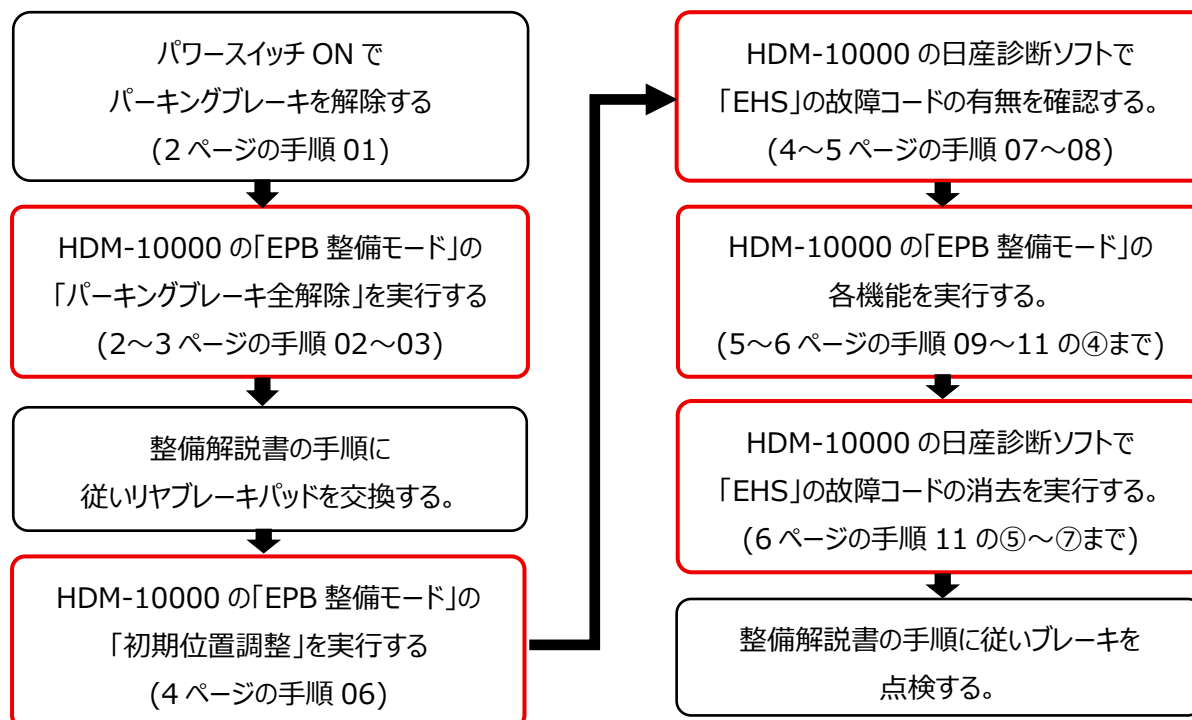
日産/EPB 整備モードの活用によるリヤブレーキパッド交換 (KICKS/P15 での例)

注意事項/必ずお読みください

- 本書は Astemo ダイアグノスティックツール HDM-10000 用診断ソフトの診断機能の操作方法、活用事例について紹介するものです。自動車メーカー発行の整備解説書を代替するものではありません。
- 実際の作業にあたっては必ず自動車メーカー発行の整備解説書で正式な作業手順、注意事項をご参照のうえ、作業を行ってください。
- 自動車メーカーにより予告なく車両の仕様が変更されるため、本資料で紹介する機能が使用できない場合があります。

1. EPB 整備モードについて

- 電動パーキングブレーキを採用している日産車では、車両によりリヤブレーキパッドの交換を行う際、スキャンツールのアクティテスト「パーキングブレーキ全解除」や作業サポート「初期位置調整」を使用します。
- HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」にある「EPB 整備モード」は「パーキングブレーキ全解除」「初期位置調整」「ブレーキ状態確認」が集約されており、機能選択の操作を省略することが可能です。
- 本書では KICKS(P15)での操作例を紹介します。
- KICKS での「EPB 整備モード」を使用した電動パーキングブレーキのリヤブレーキパッド交換の手順は以下となります。

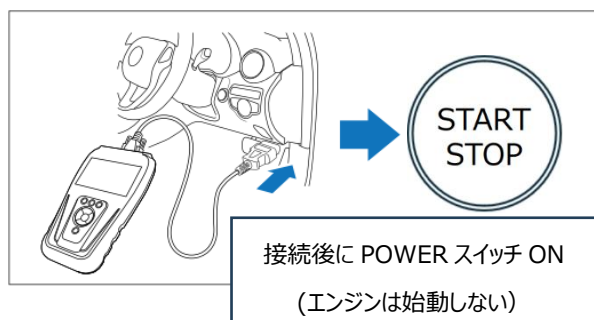


(次ページに続きます)

2.HDM-10000 用日産診断ソフトの「EPB 整備モード」の操作手順

【手順 01:HDM-10000 の車両への接続】

- ①HDM-10000 を車両側診断コネクタに接続してください。HDM-10000 が起動します。
- ②車両側 POWER スイッチを ON にして、次に電動パーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキを解除してください。
- ③HDM-10000 メニュー内の「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 02:メンテナンスモードの起動から EPB 整備モードの起動まで】

- ①特殊機能が表示されます。「メンテナンスモード」を選択して ENTER キーを押してください。メンテナンスモードの画面が表示されたら「日産/インフィニティ」を選択し、画面の右側の一覧で「EPB 整備モード」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「しばらくお待ちください」が表示されたあと「市場選択」が表示されます。「市場選択」「仕向地選択」「仕向国選択」「車種選択」「型式選択」「年式選択」の画面が表示されるので、それぞれの画面で接続している車両に該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。「システム確認中しばらくお待ちください」のメッセージが表示されたあと「EPB 整備モード」の機能選択画面が表示されます。



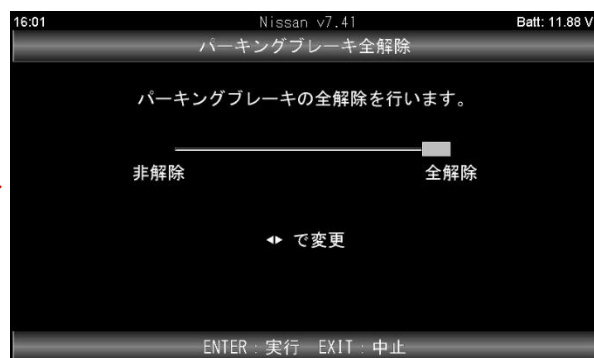
(次ページに続きます)

【手順 03:EPB 整備モード/パーキングブレーキ全解除の実行】

- ①「EPB 整備モード」の機能選択画面で「パーキングブレーキ全解除」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「パーキングブレーキ全解除」の実行画面が表示されます。方向キーの右で非解除にあるカーソルを全解除に移動させたあと、ENTER キーを押してください。



- ③パーキングブレーキ全解除が実行され、右の画面が表示されます。

【注意事項】

実行中はブレーキペダル、電動パーキングブレーキスイッチの操作を行わないでください。

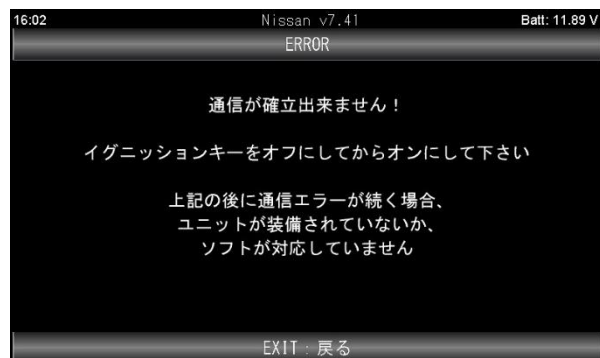


【手順 04:リヤブレーキパッド交換の実施】

- ①車両側 POWER スイッチを ON⇒OFF にしてください。
②整備解説書に記載された作業手順に従いリヤブレーキパッドの交換を行ってください。

【手順 05: EPB 整備モード/パーキングブレーキ全解除の終了】

- ①車両側 POWER スイッチを ON にして 10 秒間待機してください。
②EXIT キーを押してパーキングブレーキ全解除を終了させてください。
なお、右図のメッセージが表示される場合は、メッセージに従い車両側 POWER スイッチの OFF⇒ON を行って 10 秒間待機してから EXIT キーを押してください。



(次ページに続きます)

【手順 06:EPB 整備モード/初期位置調整の実行】

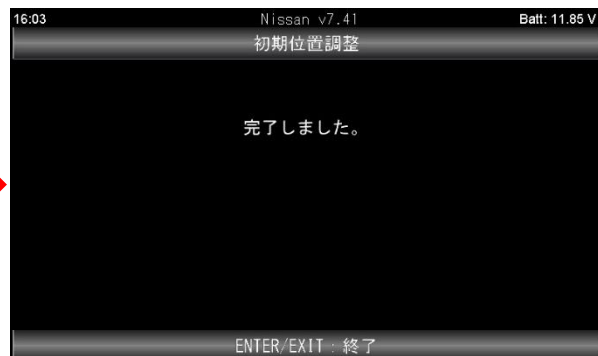
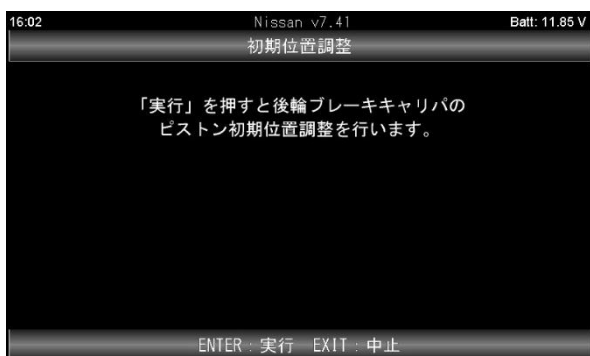
- ①「EPB 整備モード」の機能選択画面が表示されたら、
「初期位置調整」を選択して ENTER キーを押してください。

【注意事項】

実行中はブレーキペダル、電動パーキングブレーキスイッチの
操作を行わないでください。

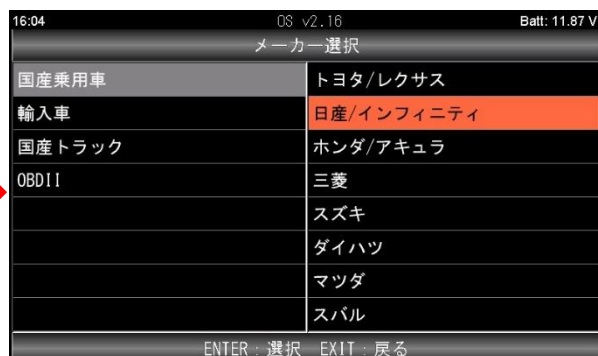


- ②「初期位置調整」の実行画面が表示されたら、ENTER キーを押してください。「完了しました。」が表示されれば、
初期位置調整は完了です。



【手順 07:EHS の故障コード読み取り/日産診断ソフトの起動まで】

- ①電動パーキングブレーキスイッチでパーキングブレーキの作動と解除を行ってください。
②EXIT キーを数回押して HDM-10000 メニューまで戻してください。HDM-10000 メニューが表示されたら「診断」を
選択して ENTER キーを押し、「メーカー選択」で「日産/インフィニティ」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③日産診断ソフトが起動したら「市場選択」「仕向地選択」「仕向国選択」「車種選択」「型式選択」「年式選択」の画面が表示されるので、それぞれの画面で接続している車両に該当する項目を選択して ENTER キーを押してください。



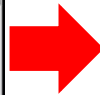
(次ページに続きます)

【手順 08:EHS の故障コード読み取り/「異常なし」の表示の確認まで】

- ①「日産メインメニュー」が表示されたら「診断」を選択して ENTER キーを押し、「診断選択」で「システム別の診断」を選択して ENTER キーを押してください。



- ②「システム選択」が表示されたら「EHS」を選択して ENTER キーを押してください。「イニシャライズ中…しばらくお待ちください。」のメッセージの次に「EHS」が表示されたら「故障コードの読取」を選択して ENTER キーを押してください。



- ③「異常なし」が表示されることが確認できたら数回 EXIT キーを押して「HDM-10000 メインメニュー」まで戻り、再度、「特殊機能」を選択して ENTER キーを押してください。



【手順 09:EPB 整備モードの再起動】

2 ページの【手順 02】と同じ要領で「EPB 整備モード」を再起動させてください。



(次ページに続きます)

【手順 10:ブレーキ状態確認】

①「ブレーキ状態確認」を選択して ENTER キーを押してください。



②「イニシャライズ中…しばらくお待ちください。」のメッセージの次に「ブレーキ状態確認」が表示されます。

電動パーキングブレーキスイッチで作動と解除を行ったとき、「ブレーキ状態(右)」「ブレーキ状態(左)」の状態の表示が整備解説書の記載のとおりとなるか確認してください。確認が完了したら EXIT キーを押して①の画面に戻ります。



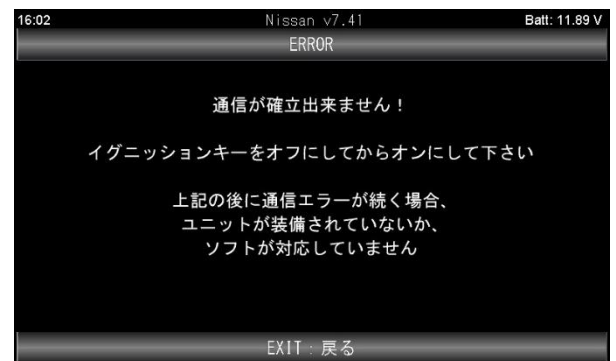
【手順 11:パーキングブレーキ全解除、初期位置調整の実行と故障コードの消去/読取】

①POWER スイッチを OFF⇒ON にして 10 秒間待機してください。

②3 ページの【手順 03】を参照して「パーキングブレーキ全解除」を実行してください。

③EXIT キーを押して「パーキングブレーキ全解除」を終了させてください。

なお、右図のメッセージが表示される場合は、メッセージに従い車両側 POWER スイッチの OFF⇒ON を行って 10 秒間待機してから EXIT キーを押してください。



④4 ページの【手順 06】を参照して「初期位置調整」を実行してください。

⑤POWER スイッチを OFF⇒ON にして 10 秒間待機してください。

⑥4 ページの【手順 07】から 5 ページの【手順 08】の②までを参照して操作を行い、「EHS」が表示されたら「故障コードの消去」を選択して ENTER キーを押してください。次の「故障コードの消去」の画面で ENTER キーを押して「消去完了」が表示されたら EXIT キーを押してください。



⑦最後に 5 ページの【手順 08】の②③の要領で「故障コードの読取」を行い「異常なし」を確認できたら完了です。整備解説書を参照してブレーキの点検を行ってください。

(2026.11.28 発行)